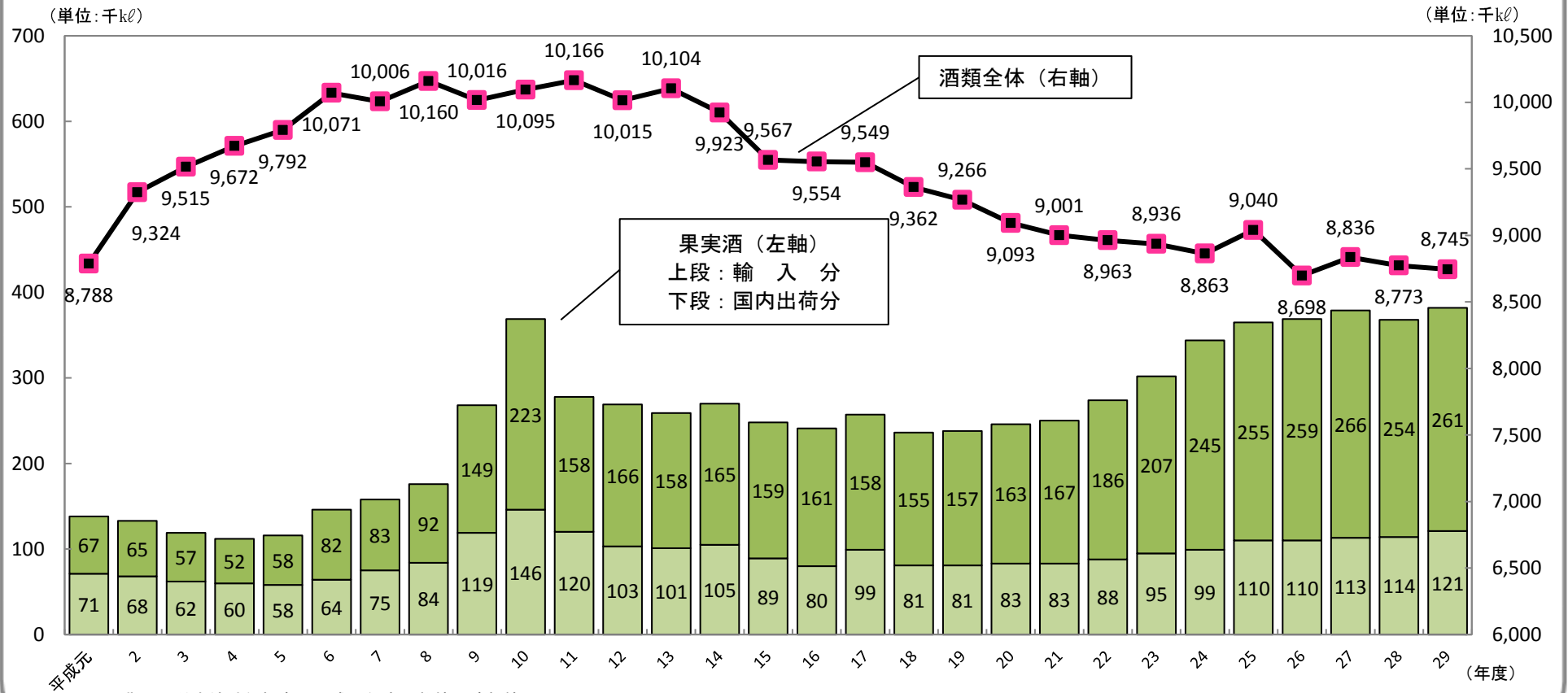


2 出荷・生産の概況

○ 果実酒の出荷量（課税移出数量）の推移

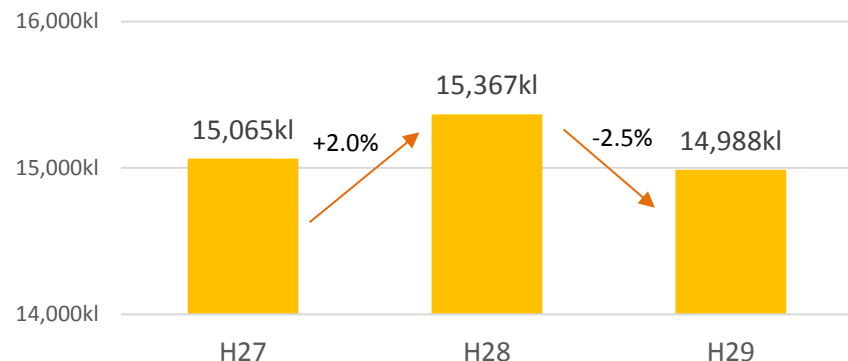
酒類全体の課税移出数量が減少傾向のなか、果実酒は増加傾向にある。

果実酒の課税移出数量のうち、輸入分は前年比約2.8%の増加、国内出荷分は前年比約6.1%の増加。



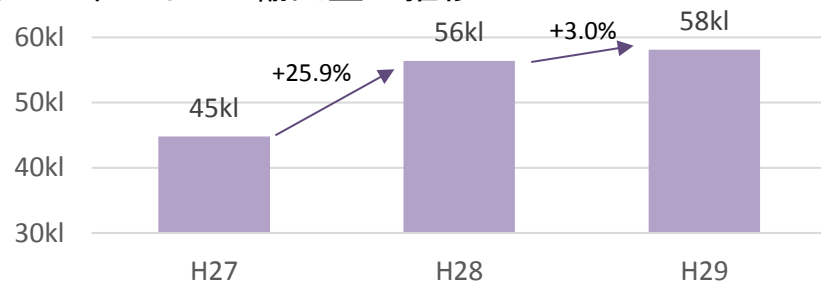
○ 日本ワインの出荷量

○ 日本ワインの出荷量(課税移出数量)の推移



- (注) 1 出荷量の計数は、果実酒製造業者実態調査によるものであり、各年度によって必ずしも回答者が同一ではないため、経年比較にあたっては参考値であることに留意する。
- 2 H27は、法人については平成28年1月1日直前終了事業年度分、個人については平成27年分を集計している。H28及びH29は、法人・個人とも会計年度を基に集計している。
- 3 H28は、一部製造業者から修正の申出があったため、昨年度の「国内製造ワインの概況」に記載した計数から見直している。

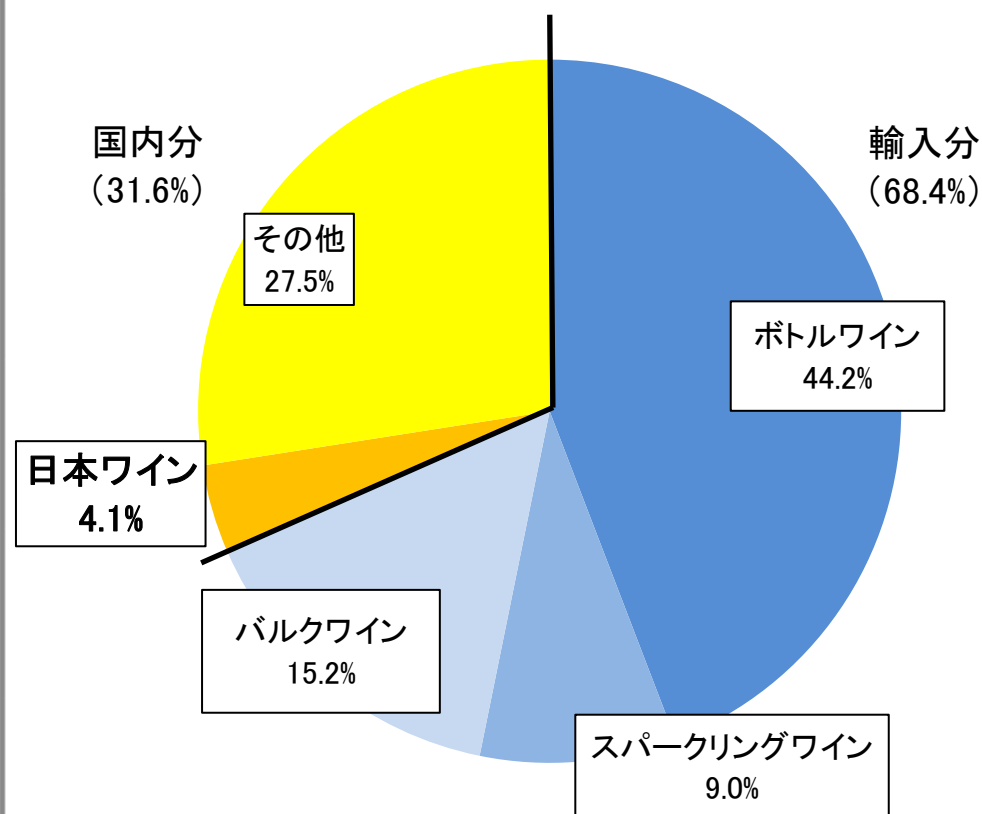
○ 日本ワインの輸出量の推移



- (注) 1 輸出量の計数は、果実酒製造業者実態調査によるものであり、各年度によって必ずしも回答者が同一ではないため、経年比較にあたっては参考値であることに留意する。
- 2 法人については各直前終了事業年度分、個人については各年分を基に集計している。

○ 国内市場におけるワインの流通量の構成比

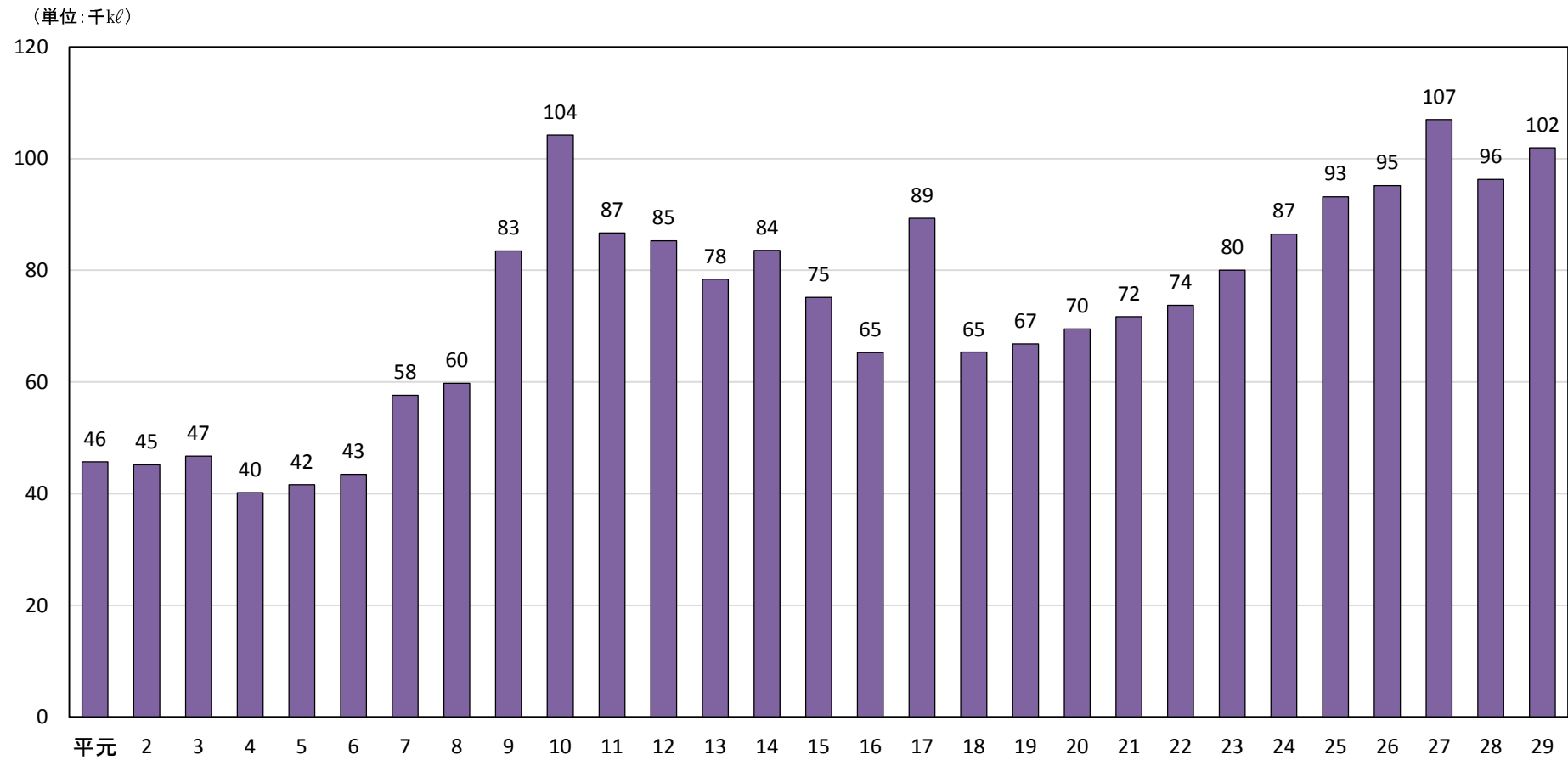
(平成29年度推計値)



- (注) 1 国内分・輸入分の構成比は、国税庁統計年報書における果実酒の課税数量比である。
- 2 輸入分の内訳は、財務省貿易統計の輸入数量比である。
- 3 国内分の構成割合は、果実酒実態調査を基に推計している。

○ 果実酒の生産量(製成数量)の推移

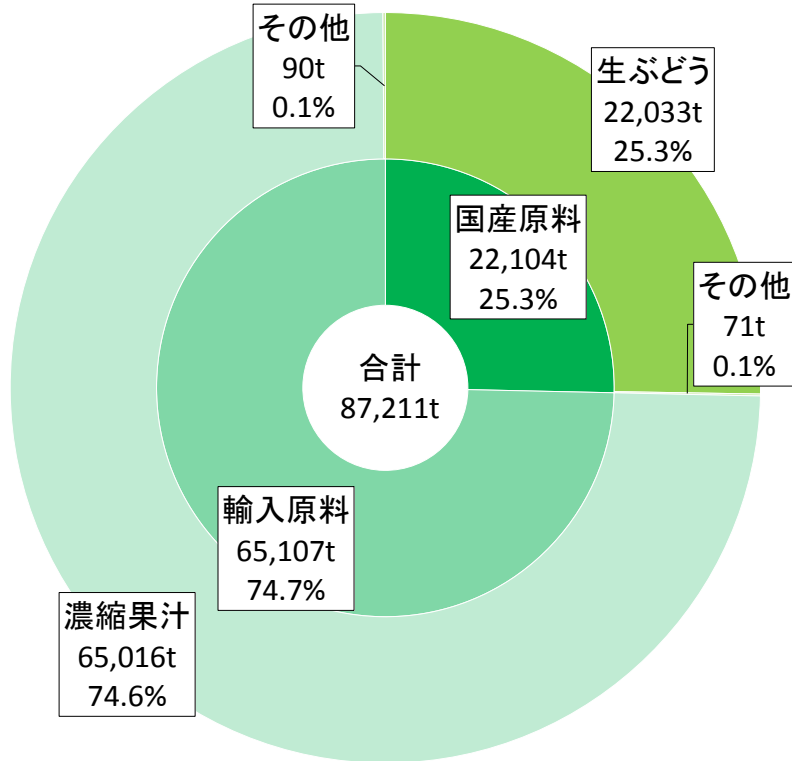
果実酒の生産量は長期的には増加傾向にあり、平成27年度には平成元年以降で最大(107kl)となった。
平成29年度は前年度より増加し、平成10年及び平成27年に次ぐ高水準であった。



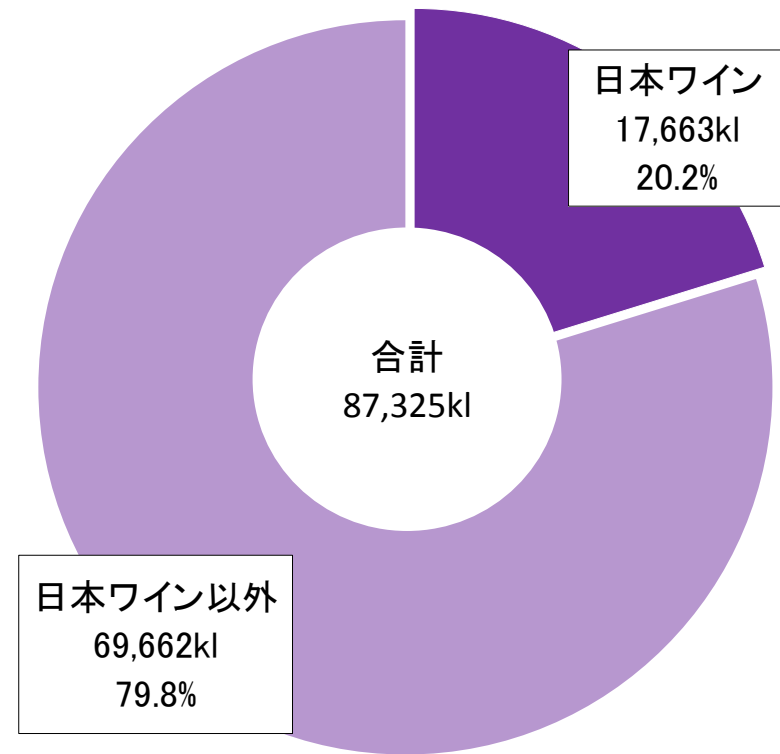
○ 国内製造ワインの使用原料及び生産されたワインの内訳

国内製造ワインの生産量構成比をみると、日本ワインは20.2%である。

○ 国内製造ワインの使用原料構成比



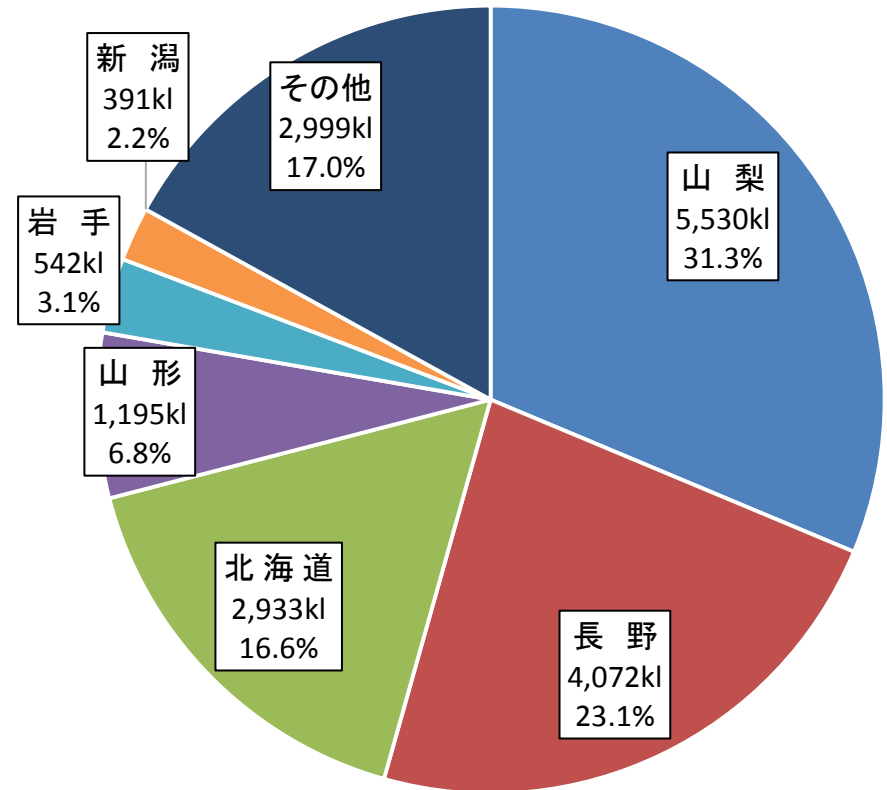
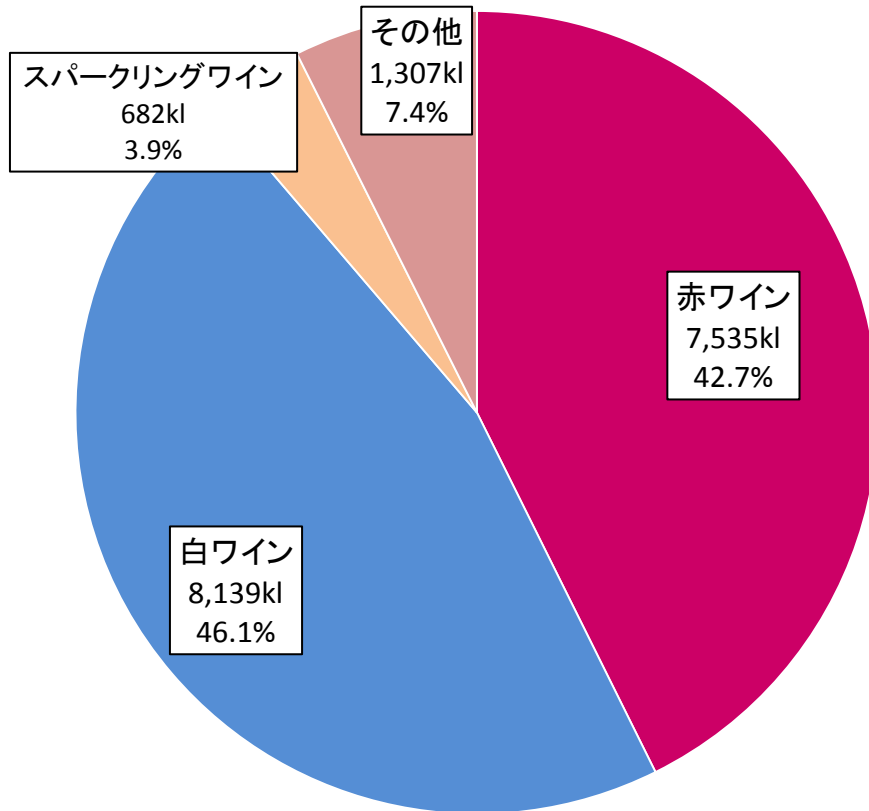
○ 国内製造ワインの生産量構成比(日本ワイン)



(注) 果実酒製造業者実態調査に回答のあった製造場のワインの生産量の集計値であり、7ページの生産量とは一致しない。

○ 日本ワインの種類別生産量及び上位6道県の構成比

日本ワイン生産量 17,663kl



(注) 果実酒製造業者実態調査による。詳細は参考3を参照。